

日本人ってすてきだな

香川県 城北小学校 3年 渡部 英知

「やっぱり、日本ってすごいよね。」

アメリカに住んでいるおばさんが、ぼくの話聞いて言いました。

ぼくは、去年の夏休み、大きなテーマパークに家族と出かけました。パークの中のホテルにとまるため、まず、荷物をあずける場所に行きました。そこには、お客さんがたくさんいて、行列ができ、ならぶのがたいへんでした。それから、荷物に名札をつけました。たくさん荷物につけなければいけないので、ひと苦勞でした。

やっと荷物をあずけ終えてパークに入場し、ゆっくりと楽しもうと、わくわくした気持ちでいると、お父さんが大きな声で、とつぜん、

「サングラスがないよ。どこ。」

と言いました。ぼくのわくわくした気持ちは急に、真っ暗やみになりました。お気に入りのサングラスがないのです。荷物をあずける場所においてきてしまったのです。名札をつけるときに、台においたような気がします。

引き返そうかと考えたのですが、多くの人波をかきわけてもどることもできそうになく、いったんあきらめることにしました。どこかさみしい気持ちをむねに、ぼくは二日間そこで過ごすことになってしまいました。

帰る日がやってきました。サングラスのことを半分わすれかけていたとき、お母さんが、

「案内所で、もう一度だけ聞いてみようか。」

と言いました。ちょうど出口の近くにあることがわかったので、聞いてみることにしました。

案内所で聞いてみると、係の人が、くわしく話を聞いてくれました。そして、サングラスをおきわすれた場所、落とし物を集めてかんだりしている場所などに、順番に何度も電話をしてくれました。

電話のとちゅうで、サングラスがあったことがわかったと、

「ありましたよ。でも少し待ってください。」

と、明るく答えてくれました。落とし物を集めているところには、大量の物がおかれているようで、さがすのに時間がかかりました。また、広いパークなので、それを運んでくるのにも時間がかかりました。

たった一つのサングラスだけど、拾って係の人にわたしてくれた人やあずかってくれた人、さがしてくれた人、電話をしてくれた人、運んでくれた人など、ぼくの知らないいろいろな人たちの力のおかげで、サングラスがちゃんともどってきました。たくさん人の、やさしくて親切な心がつながったのだと思います。

アメリカに長く住んでいるおばさんが、そんな親切な心のつながりこそ、日本のよさだと教えてくれました。ほかの国ではなかなかないことだそうです。ぼくはそれを聞いて、日本っていいな、日本人でよかったなと思いました。日本は、多くの人が親切な心をもったやさしい国だと思います。

これからも、お気に入りのサングラスを宝物にして、ぼくも親切でりっぱな日本人になりたいと思います。